

人類働態学会 21期 第2回理事会

日時：2010年11月13日（土） 10:00～12:30

場所：電気通信大学 西5号館3階314室

出席者：植竹照雄、岡田 明、片岡洵子、岸田孝弥、酒井一博、申 紅仙、鈴木一弥、瀬尾尚聡、
竹内由利子、橋本修左、平野和彦、真家和生、水野有希、松村秋芳、山岡俊樹

配布資料： 資料1 21期第2回理事会次第 資料5 IEA 分担金に関する決定事項
 資料2 第46回大会の第1報 資料6 著作権ポリシーのアンケート
 資料3 人間工学チェックポイント 資料7 海外からの入会希望連絡
 資料4 財務会議メモ 資料8 共催名義借用について

会員動向（下記を含め220名）

<退会> なし

<入会> 田中諒介(中京大学大学院)

※ 会員数220人の内訳として、送付物が届いている会員206人、行方不明者14人

議事次第

●審議事項

1. 第46回大会

- ・夏季研究会および全国大会は2011年6月4日（土）、5日に開催決定
- ・場所は、夏季研究会が広島近郊のぶどう農園、第46回大会は広島大学医学部の広仁会館の予定。
- ・テーマ案は「産業としての農業の再生」、①労働負担の軽減、②経営としての自立
- ・今後の課題として、夏季研修会と大会シンポのテーマ設定をし、研究推進から意見が挙がっている学会としての関連性を考慮してテーマを選定する必要性がある。

2. 共生シンポと東日本地方会との位置づけについて

- ・現在、費用は独立しているが、連日開催のために共生シンポの案内が独立していない。HPでの共生シンポの案内を修正する方向で調整する。

3. 働態学会の研究活動について

1) 人間工学チェックポイント

- ・IEA会長との共同で進めることを承諾し、IEA側の担当窓口も決定済み。
- ・高橋理事を中心にメンバーを構成し、科研費に申請、12月に合宿形式で内容を精査する予定。
- ・今後の検討事項として、現状の進捗状況を会員が共有できるような資料（理事会資料ならびにHP）の提示や、競争的資金の申請までの過程を会員や若手に共有することなど。

2) 研究推進事業

- ・『自転車』を働態学会のテーマとし、研究推進が中心となりプロジェクトを進め、HPにも掲載予定。
- ・期間については3年程度を考えており、小規模のワークショップ、第46回大会もしくは来年度の共生シンポで成果発表の実施などを検討。
- ・競争的資金獲得のための申請をする予定であるが、早い段階で申請先の助言・検討を進めたい。

4. 財政の建て直しについて

- ・学会補助金削減（今回の東日本地方会は10万円に削減）、通信用封筒を安価なものに変更。
- ・未納入者について、雑誌送付停止や会費納入催促方法、退会扱いについて検討。
- ・JHEの別刷りやPDFファイル（メール配信）の有料化、非会員からの査読費用請求などを検討。
- ・共生シンポジウムは無料としていたが、資料代として500円程度徴収するかを検討。

5. IEA分担金について

- ・当該年度の会費収入3%か、50\$のどちらか（配布資料5を参照）を分担金として納入。

6. 生理人類学会との合同シンポジウム

- ・2011年11月5,6日が候補日として挙がっており、共同でシンポジウムの開催は前向きに検討。テーマ内容やシンポジウムの位置づけなど、真家会長が生理人類学会との窓口になり進める。

7. その他

1) 伊達市の学会会場の誘致について（真家会長から）

- ・北海道伊達市が学会会場の誘致を行っており、無料で施設や人員の提供を行なっている。

URL: <http://www.funkawan.net/gakkai.html> を参照

2) 海外からの会費振込みについて（事務局から）

- ・インドネシアからの入会問合せ（入会希望者の論文投稿有り）があり、会費設定（円 or ドル）の検討が必要。

●報告

各担当よりの報告

西日本地方会

- ・12月18日（土）に広島大学で開催予定、原稿締切は11月26日（金）

国際交流

10月に行なわれたIEA理事会に堀野理事と城理事が出席、報告内容は配布資料3を参照。

事務局

2010年11月27日,28日に開催される「人間－生活環境系シンポジウム」の協賛を承認。

次回の理事会は、後日メールにて連絡

以上